

人民日報

海外版

5

May. 2023

日本月刊

毎月25日発行

PEOPLE'S DAILY OVERSEAS EDITION JAPAN MONTHLY

◎特別インタビュー
元横綱白鵬関
宮城野親方



中国経済の焦点

世界にメリットをもたらす中国の「制度型開放」とは

中国市場の現場

急速に高まる中国の宅配業界のサービス能力

今月の日本報道

RCEP協定めぐる中日企業の新たな商機探る

中国の社会情勢

「後半戦」に突入した中国の都市化

中国ネット事情

中国のネット文学が海外の「Z世代」にも人気

中国の観光レポート

人気の「プチ旅行」で高まる若者の社交ニーズ

インタビュー



順天堂大学学長
新井 一



一般社団法人日本徽商協会の副会長に就任 世界初のクリーンエネルギー発電 による環境貢献を進める

中村龍道

『人民日報海外版日本月刊』理事
ZANN CORPORATION・会長
日本深圳経貿文化促進会・副会長
一般社団法人日本徽商協会・副会長

『人民日報海外版日本月刊』の理事の中村龍道です。このたび、一般社団法人日本徽商協会の副会長に務めることとなり、皆さまのご支援を賜りながら、安徽省と日本の共存・共栄・共生・共益・共感を実現すべく進めて参りますので、よろしくお願いたします。

昨年、日中国交正常化50周年を迎え、ゼロコロナウイルス対策解除後、中国経済の成長が加速するなかで、再生可能エネルギー発電の設備容量が急増しています。

「二酸化炭素 (CO2) の排出量を2030年までに減少に転じさせ、2060年までにカーボンニュートラル実現を目指す」という（習近平国家主席が打ち出した）国家目標において、当社の新しい技術である発電システムの名称は「ウォータースチームリニア発電機」を提唱していきたいと思ひます。

この発電機は、水とリニアを融合させた新しい技術であり、企画から6年の歳月により完成しました。また、世界100か国以上で特許を申請中です。

この発電は、地熱あるいは水蒸気 (水) を活用するというもので、水さえあれば水蒸気をつかって発電で

きます。水道水、雨水、井戸水、川、湖、海水を淡水化して発電することも可能なため、水があればそれだけで発電可能な条件を満たします。

このように、非常に広範囲の地域で発電を行うことができるため、太陽光発電、風力発電と異なり、水資源が豊富な安徽省を中心に中国全土で2KW~1000MW のクリーンエネルギー発電による環境貢献を進めていきたいと思ひます。

事例)

- 1.220 坪の土地面積で、10MW の発電量。
- 発電所 (50MW 以上) の建設は、6~8ヶ月。
- 発電所は、分散型ミニ電力ネットワーク構成を採用。
- ウォータースチームリニア発電機は、モジュール式のメンテナンスが容易。



2KW パワーボックス



2MW・移動式モバイル発電機